ながい食育通信

Vol.14

発行：長井市農林課

毎月19日は「食育の日」

食育クイズ

11月には、田の神様が冬の間、山に戻る「十日夜（とおかんや）」という行事が行われる地域があります。昔、この晩にうなりながら成長すると信じられていた野菜があります。それは何でしょう？

（1）こまつな（2）はくさい（3）だいこん

*「ながい食育通信」*では、市内で『食』に関するさまざまな活動に取り組まれている皆さんの食育活動情報をご紹介しています。

つくる人と食べる人がつながる

～生産者と一緒にバイキング給食～

自分で選んで食べる バイキング給食

長井市給食共同調理場では、子供たちのより良い食習慣を作り、地域の食文化や食に関する興味・関心を高めながら楽しく食事することで交流を深め、かつ栄養バランスのとれた給食を通して、食育を複合的に体験することを目的として、年に1回、小学6年生の児童と中学3年生の生徒を対象に「バイキング給食」を実施しています。



生産者の方と一緒に交流給食

9月28日に実施された長井小学校のバイキング給食では、いつも学校給食においしい食材を届けていただいている伊東さんご夫妻らをお招きし、生産者からの貴重なお話をいただいたあと、子供たちと交流しながら一緒に給食を味わいました。

伊東さんご夫妻に食育インタビュー！



ご夫婦で農業を営んでいる
伊東啓人さん・陽美さん

Q.農業を始めたきっかけは？

（啓人さん）高校を卒業してから上京して大工として働いていましたが、20歳の時にけがをして帰郷した際、祖父母のお手伝いをするようになったのがきっかけで、それから自分でやってみようと思うようになりました。実際にやってみると、ただ作るだけではなく、収入面も考えてやっていかなければならない大変さはありますが、周りの農業者の方がみんな優しく、いつも気にかけてくれるので色々教わりながらやっています。

Q.農業の魅力や大切にしていることは？

（啓人さん）全て自分のタイミングで自分の好きなようにできるのが楽しいです。ただ、失敗した時は誰も責任を取ってくれないので自分がしっかりしないといけない。おいしいものを作るために強いこだわりを持ってやっているので、どんなに忙しくても、手は抜きたくないと思ってやっています。

（陽美さん）結婚して初めて農業に携わったので、全て初めての経験ですが、疲れ方がちがうせいか、当たり前のことがとても幸せに感じます。実際に食べておいしいと言ってくれることがわかると、また頑張ろうと思えます。



Q.一言メッセージをお願いします！

（啓人さん）「当たり前に『食』が揃っている環境」に気づいてもらえたらいいなと思っています。まずは気軽に「食べる」体験や「農業」体験をしてみてほしいです。

【答え】正解は（3）「だいこん」

旧暦で10月10日の十日夜（とおかんや）は、東日本では「大根の年取り」といって、だいこんがその一晩で大きくなり、皮がむける日と伝えられています。畑のだいこんがうなりながら成長し、その音を聞くと命が縮むとも信じられていました。しかし実際に、だいこんは成長するときに根の皮が一度はげ、本当に"脱皮"して大きくなるそうです。

○出典・参考：健学社『みんなで食べ物エネスマート　食育クイズ名人』